

LSBE調査研究会委員の先生方

先日の会議で各支部例会の評議員会でLSBE症例の登録を呼びかけるスライドを作ることになり、スライドを作成いたしました。

その際に、支部ごとの症例登録数のランキングを提示することを提案いただきましたのでそのスライドも作りました。

内容をご確認いただき、問題ないようでしたら、担当の先生方には各支部例会の評議員会でご説明いただきますよう、お願いします。時間に合わせて必要なスライドを使用していただければと思います。

LSBE調査研究会事務局
島根大学医学部第二内科 石村典久
ishimura@med.shimane-u.ac.jp

Barrett食道の発癌リスクを明らかに するための多施設参加の前向き コホート研究 (LSBE調査研究)

2011年6月～登録開始

研究委員長：	島根大学医学部第二内科	木下芳一 教授
学術委員会委員長：	大阪府立成人病センター	飯石浩康 副院長
研究担当理事：	藤田保健衛生大学第2病院内科	乾 和郎 教授

LSBE調査研究コアメンバー

研究委員長：	島根大学医学部第二内科	木下芳一 教授
学術委員会委員長：	大阪府立成人病センター	飯石浩康 副院長
研究担当理事：	藤田保健衛生大学第2病院内科	乾 和郎 教授

コアメンバー

東京医科歯科大学 消化管外科学分野 河野辰幸
杏林大学医学部 第3内科 高橋信一
神戸大学大学院 消化器内科学分野 東 健
浦添総合病院 消化器病センター 金城福則
札幌しらかば台病院 消化器科 遠藤高夫
NTT東日本関東病院 内視鏡部 松橋信行
岡山済生会総合病院 内科 塩出純二
順天堂静岡病院 病理診断科 和田 了
大阪医科大学 病理学 江頭由太郎
がん研究会有明病院 病理部 河内 洋
がん研究会有明病院 内視鏡診療部 藤崎順子
滋賀医科大学 病理学講座 向所賢一

浜松医科大学 臨床研究管理センター 古田隆久
東京慈恵会医科大学 新橋健診センター 加藤智弘
川崎医科大学 検査診断学(内視鏡・超音波) 眞部紀明
大阪府立成人病センター 消化管内科 石原 立
秋田大学大学院医学系研究科 消化管内科 飯島克則
横浜市立大学附属病院 消化器内科・臨床研修センター 稲森正彦
昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 郷田憲一
愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部 池田宜央
恵佑会第2病院 消化器内科 高橋宏明
国際医療福祉大学化学療法研究所附属病院 内視鏡部 天野祐二
順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 永原章仁
島根大学医学部 内科学第二 石村典久

(2016年11月時点の所属・順不同・敬称略)

研究の背景

- 欧米においてBarrett食道を母地とする食道腺癌の発生率は、ここ30年間に急激な増加の一途をたどり、現在最も高い増加率を示す癌となっている。
- 近年、本邦においても人口の高齢化や*H. pylori*の感染率の低下から、GERDの有病率は著明な増加傾向を示しており、今後、Barrett食道を母地とする食道腺癌の発生が増加することが危惧されている。
- しかしながら、本邦のBarrett食道に関する疫学調査は甚だ不十分であり、その実態は未だ明らかとなっていない。

研究目的と対象

■ 研究目的

日本人におけるBarrett食道(LSBE)の長期経過を前向きに調査することにより、Barrett食道の発癌リスクを明らかにする。

■ 研究対象者

1. 上部消化管内視鏡検査にて確認された最大長3.0cm以上のBarrett食道症例。
2. 文書により研究参加の同意が得られた者。
3. 以下の者は除外する。
 - 胃切術後の者。
 - 内視鏡検査を実施に際して支障のある合併症を有する者。

目標症例数: 500例

研究方法

■ 方法

- ・登録後は年1回の内視鏡検査を行い、Web上の登録システムにより以下の項目評価を記入する.
- ・登録後は毎年評価項目を入力、10年間の長期経過観察を行う.
- ・登録時又は経過中にBarrett腺癌またはdysplasiaを認めた場合は、適切な治療を行い、治療後症例に登録する.

島根大学医学部倫理委員会承認済み

2011年6月～登録開始

Web登録システム

 http://202.253.19.65/CRNET_LSBE



登録の際にはユーザーIDとパスワードが必要です。
詳細は、日本消化器内視鏡学会ホームページをご確認ください。

調査項目

■ 必須項目①: 患者情報

- ・診断確定日
- ・年齢・性別
- ・身長・体重(BMI)
- ・GERD症状(胸やけ・吞酸)の有無
- ・内服(PPI, H₂RA, NSAIDs, 降圧剤, アスピリン, etc)
- ・飲酒量・喫煙量
- ・既往歴

■ 必須項目②: 内視鏡所見

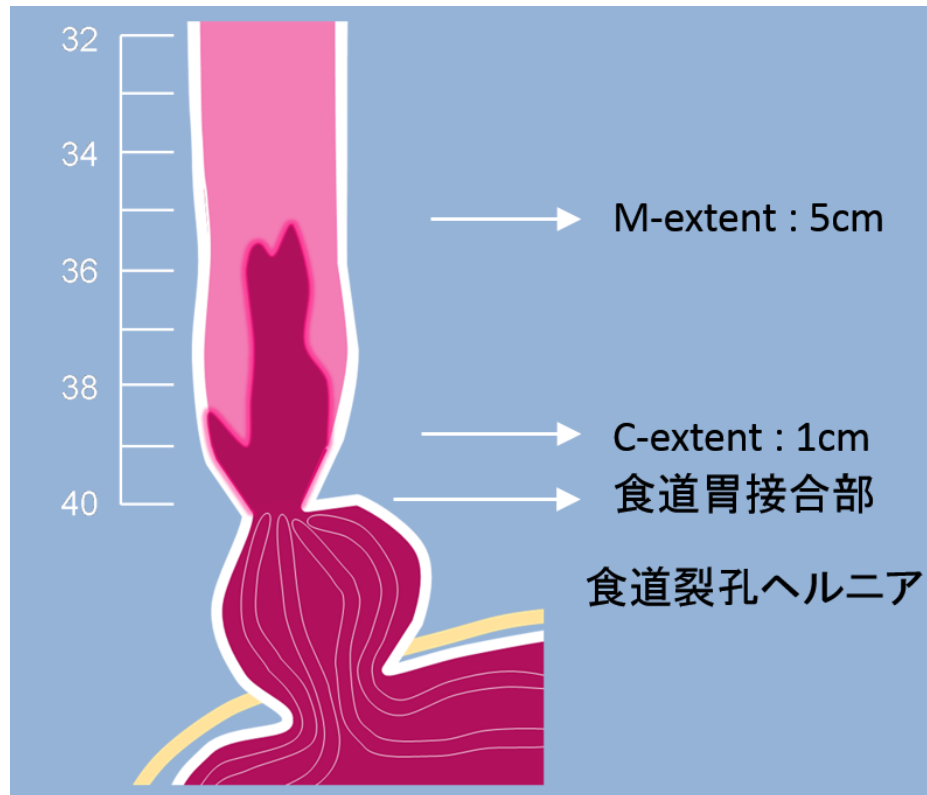
- ・Barrett食道の最大長・円周部分の長さ(C&M分類)
- ・ヘルニアの有無: 長さ2cm以上を「有」
- ・逆流性食道炎合併の有無と程度(LA分類)
- ・Barrett潰瘍合併の有無
- ・胃粘膜萎縮(木村・竹本分類)
- ・胃潰瘍/十二指腸潰瘍の有無

調査項目

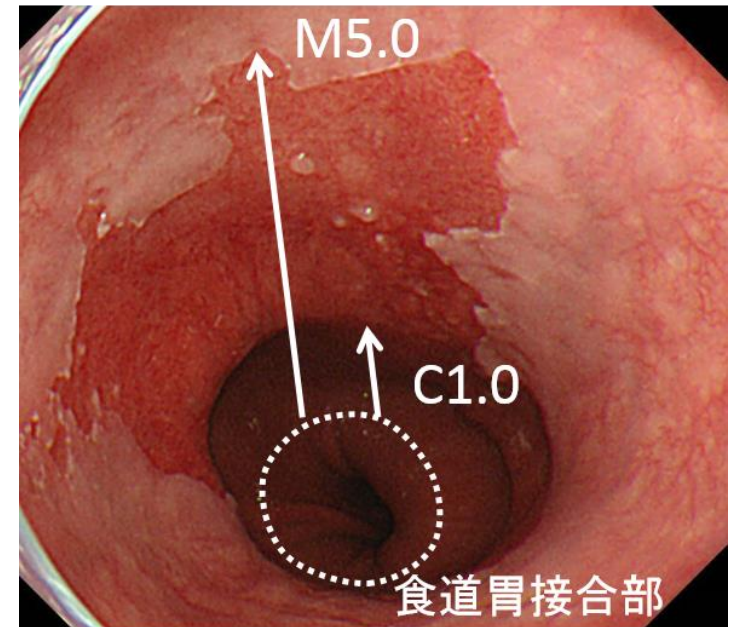
■ Barrett食道長の測定: C&M分類を用いる

- 食道胃接合部: 胃のヒダの最口側端

門歯列からの
距離 (cm)



“C 1.0 / M 5.0”



Armstrong D. Aliment Pharmacol Ther, 2004

調査項目

■ 参考項目(可能なら入力)

- ・腹囲
- ・サーベイランス生検結果(特殊円柱上皮の有無を含む)
- ・脊柱後彎の有無: 壁-後頭間距離テスト
- ・内視鏡的粘膜模様と血管構築(pit / capillary pattern)
- ・血液検査: WBC, RBC, Hb, Ht, Plt
TP, AST, ALT, γ -GTP, ALP, TG, T-cho, HDL-Cho,
LDL-Cho, Crea, FBS, HbA1c, 空腹時insulin
- ・*H. pylori*感染の有無

■ 治療後群

- ・治療内容
- ・切除例: 組織型, 病変の大きさ, 深達度, 脈管侵襲,
リンパ節転移, 他臓器転移
- ・転帰: 再発の有無(局所・遠隔), リンパ節転移, 臓器転移
死亡(原病死・他病死)

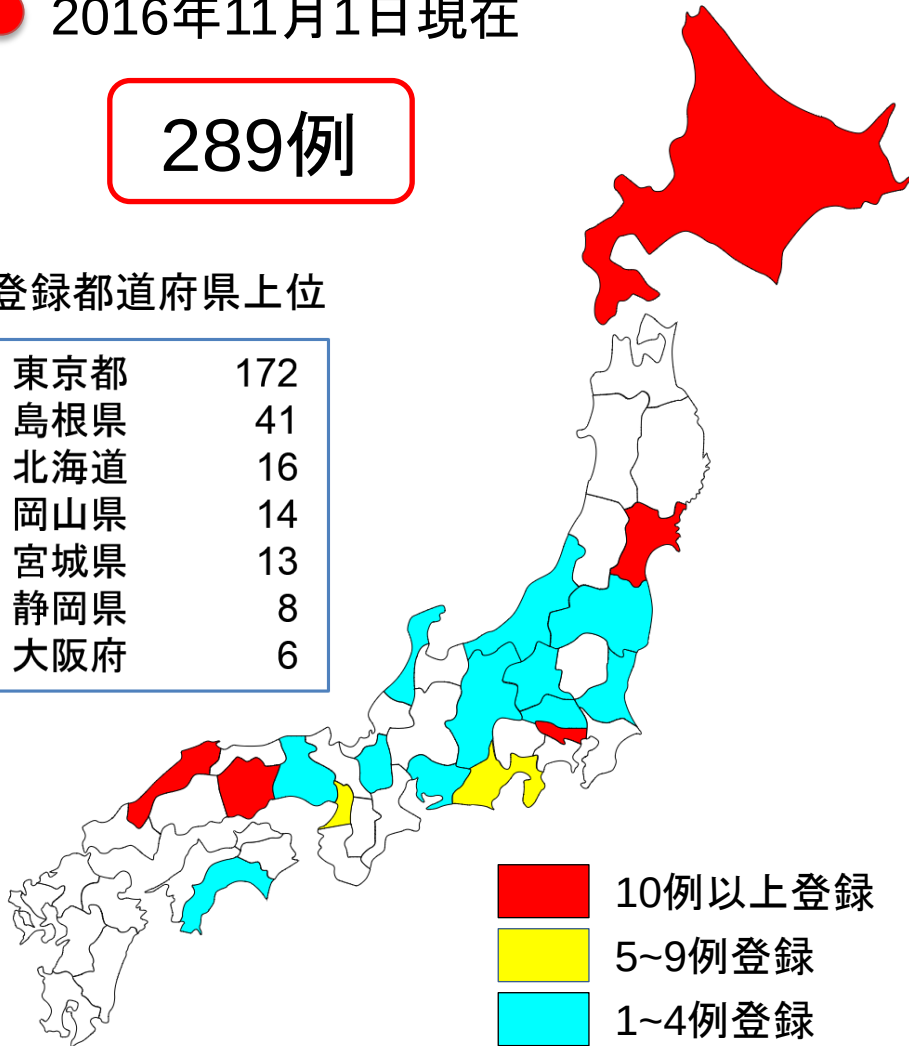
LSBE症例登録状況

● 2016年11月1日現在

289例

登録都道府県上位

東京都	172
島根県	41
北海道	16
岡山県	14
宮城県	13
静岡県	8
大阪府	6



未登録: 29府県

● 北海道支部の登録施設
ランキング

施設名	登録数
1. 札幌しらかば台病院	14
2. 恵佑会第2病院	2
計2施設	16



一般社団法人
日本消化器
内視鏡学会

▶ **日本消化器
内視鏡学会について**
学会概要、委員会一覧や
入会についての情報を
掲載しています。

▶ **会員のみなさまへ**
学会集会や専門医制度に
ついて等、会員の方への
情報を掲載しています。

▶ **市民のみなさまへ**
内視鏡検査や治療につい
てのご案内など、市民の方へ
の情報を掲載しています。

サイト内検索



OLYMPUS

一般社団法人日本消化器内視鏡学会
調査研究ご協力のお願い

バレット食道の発癌リスクを明らかとするための 多施設参加の前向きコホート研究 — LSBE調査研究 —

日本消化器内視鏡学会担当理事 川崎医科大学 春間 賢
LSBE調査研究代表 島根大学 木下 芳一

日本消化器内視鏡学会では、日本人を対象として長さ3 cm以上のバレット食道の発癌リスクを明らかにすることを目的とした10年間の前向きコホート研究を行っており、2016年5月現在、LSBE276例が参加登録され経年的な経過観察が行われております。

最初の4年間の観察でこの中から3例の食道腺癌が発症しており500例の患者さんを対象に10年間の経過観察を行うことで、日本における正確なバレット食道の発癌リスクが明らかとなるものと期待されております。長さが3 cm以上のバレット食道は、日本人の間では比較的少なく発見された全症例を登録していただきたいと考えています。

研究の概要・登録方法

日本消化器内視鏡学会ホームページ

「会員のみなさまへ」をクリックし、「学術委員会3つの研究」からお入り下さい。

① 会員のみなさまへ



学術委員会3つの研究
こちらからご覧ください

メールマガジンの「学術委員会からのお願い」でもご案内しております。

登録方法などについて不明な点は、下記事務局までご連絡をお願いします。

日本消化器内視鏡学会LSBE調査研究

事務局 石村 典久

島根大学医学部第二内科

Phone: 0853-20-2190 Fax: 0853-20-2187

Mail: ishimura@med.shimane-u.ac.jp

LSBE（最大長3cm以上）の患者さんの経過を見ておられる先生は、ぜひ登録をお願いします。先生方のご尽力をお願い申し上げます。



会員ログイン

会員番号(半角英数字)

パスワード(半角英数字6～20文字)

ログイン

パスワード新規発行

パスワードをお忘れの方へ



メールアドレス

▶ 登録・変更フォーム

JGES Mail Magazine

▶ バックナンバー

GASTROENTEROLOGICAL
ENDOSCOPY

DEN Digestive Endoscopy
For Gastroenterologists and
Endoscopy Surgeons

J-STAGE&KaLibの
IDとパスワードは
こちら ▶



Barrett食道の発癌リスクを明らかに するための多施設参加の前向き コホート研究 (LSBE調査研究)

中間報告

掲載論文

Surveillance of patients with long-segment Barrett's esophagus:
a multicenter prospective cohort study in Japan.

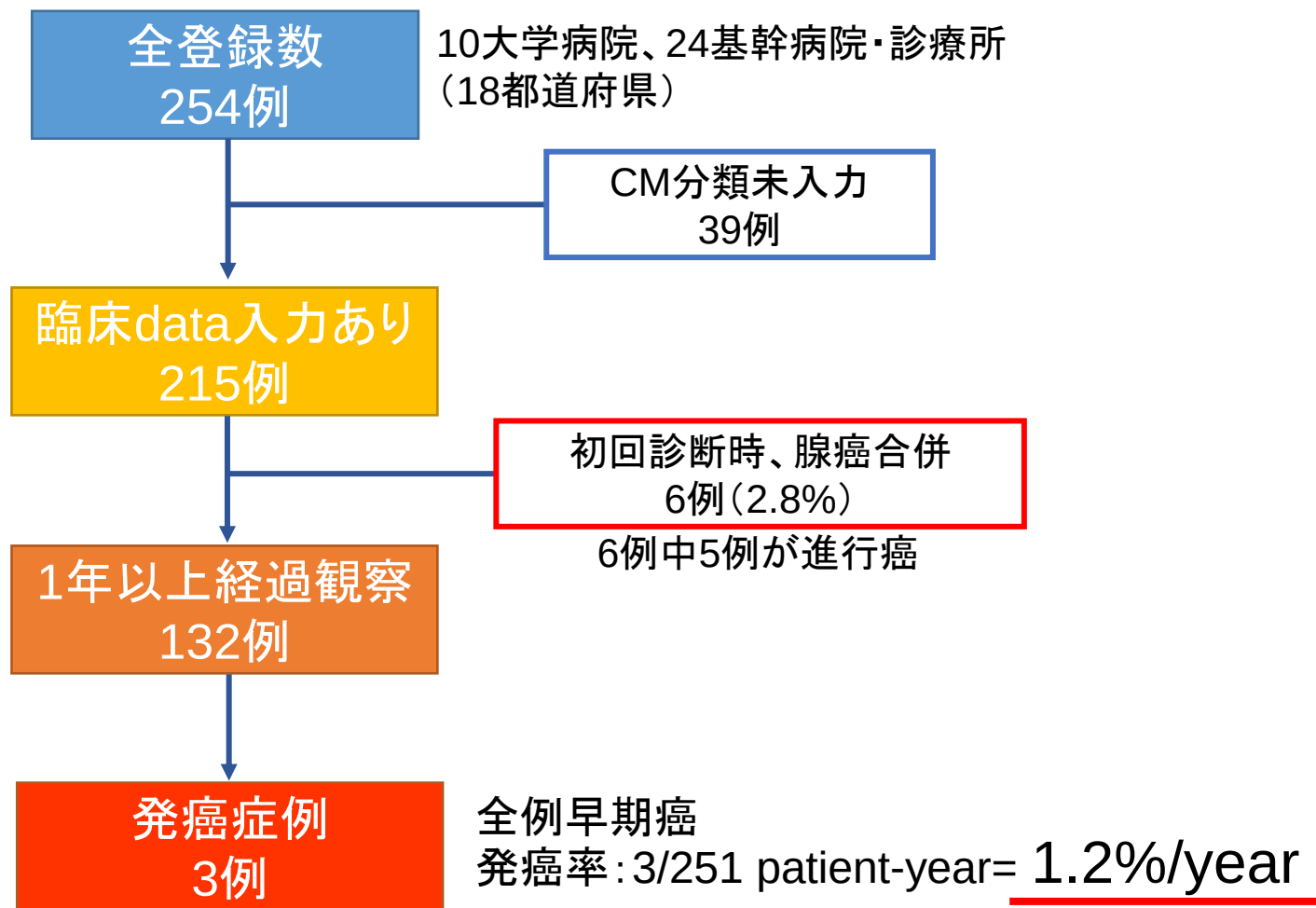
Matsushashi N, Sakai E, Ohata K, Ishimura N, Fujisaki J, Shimizu T, Iijima K, Koike T, Endo T,
Kikuchi T, Inayoshi T, Amano Y, Furuta T, Haruma K, Kinoshita Y.

J Gastroenterol Hepatol. 2016 Jul 15. doi: [10.1111/jgh.13491](https://doi.org/10.1111/jgh.13491)

登録症例のフローチャート

中間解析時(2011年6月～2015年8月)

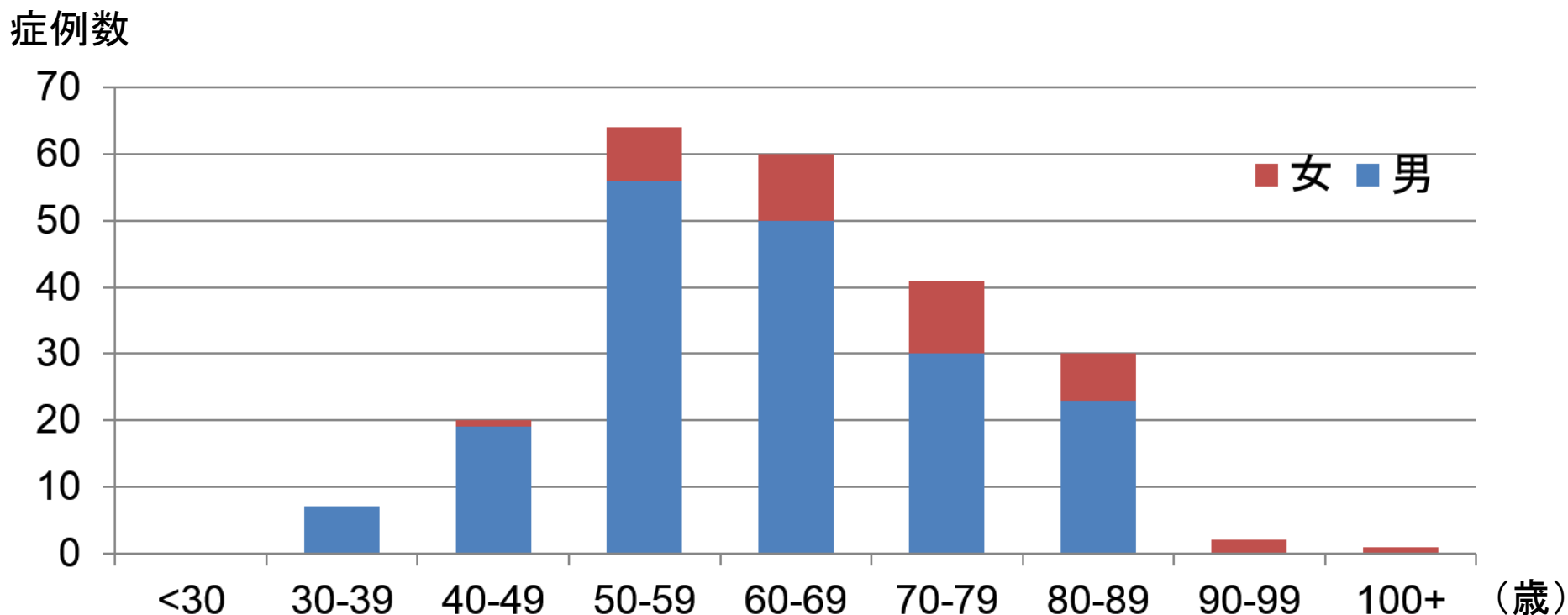
LSBE(最大長3cm以上)



登録症例の臨床像

中間解析時(2011年6月～2015年8月)

- 男女比:175:40(男性:81.4%)
- 平均年齢:62.8±12.4歳(33～103歳)
- 登録時にBarrett腺癌の併存あり:6例(2.8%)



登録症例の臨床像

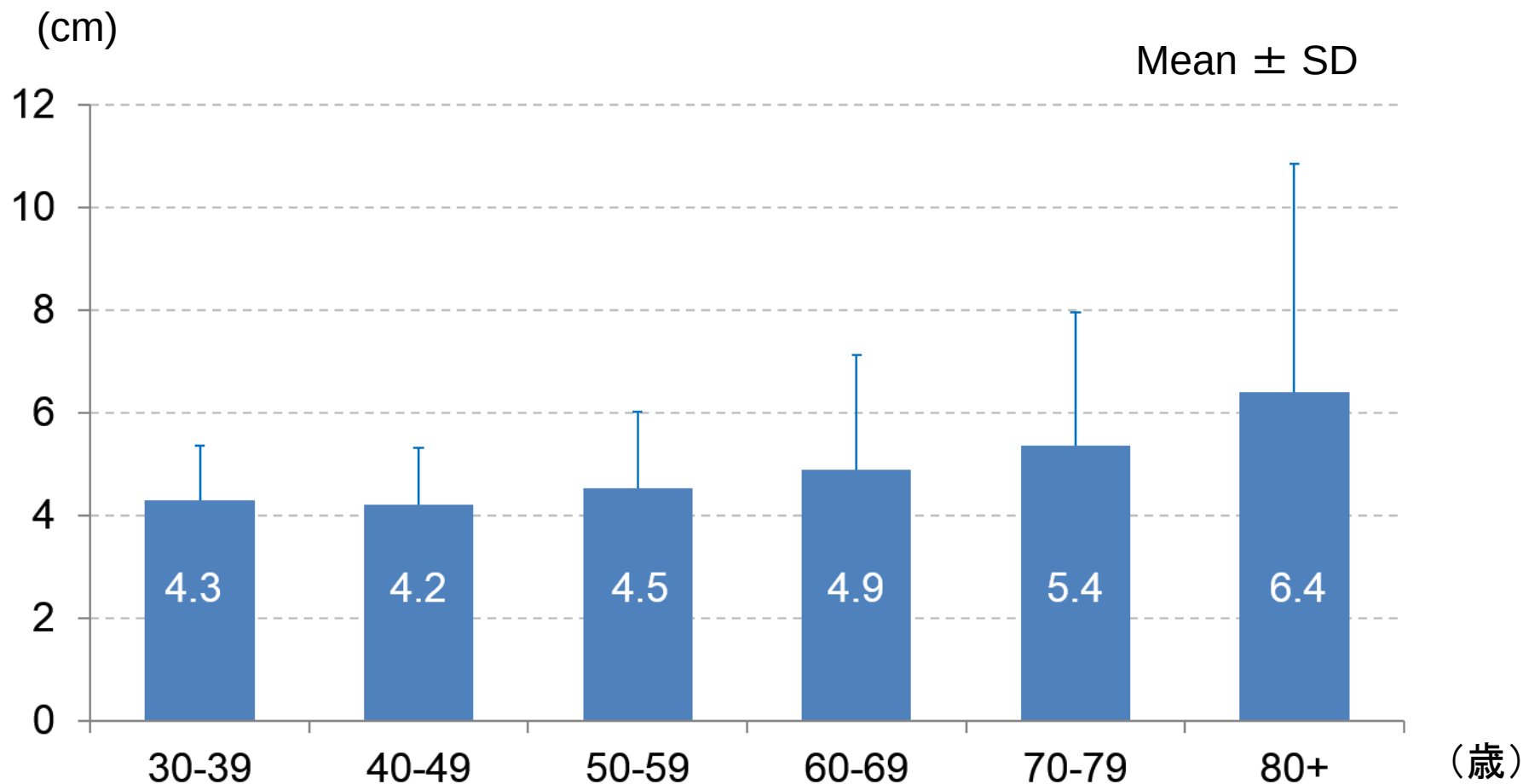
中間解析時(2011年6月～2015年8月)

平均年齢(歳)	62.8±12.4
男女比(男%)	175:40 (81.4%)
BMI	23.7±3.2
GERD症状(あり)	51.2%
PPI服用(あり)	59.5%
喫煙(あり)	37.2%
飲酒(あり)	46.0%
逆流性食道炎(LA-A以上)	36.3%
食道裂孔ヘルニア(あり)	51.2%
胃粘膜萎縮(O-type)	8.8%

登録症例の臨床像

中間解析時(2011年6月～2015年8月)

■ 年齢区分別の平均Barrett食道長(M-extent)



経過観察中の発癌症例

中間解析時(2011年6月～2015年8月)

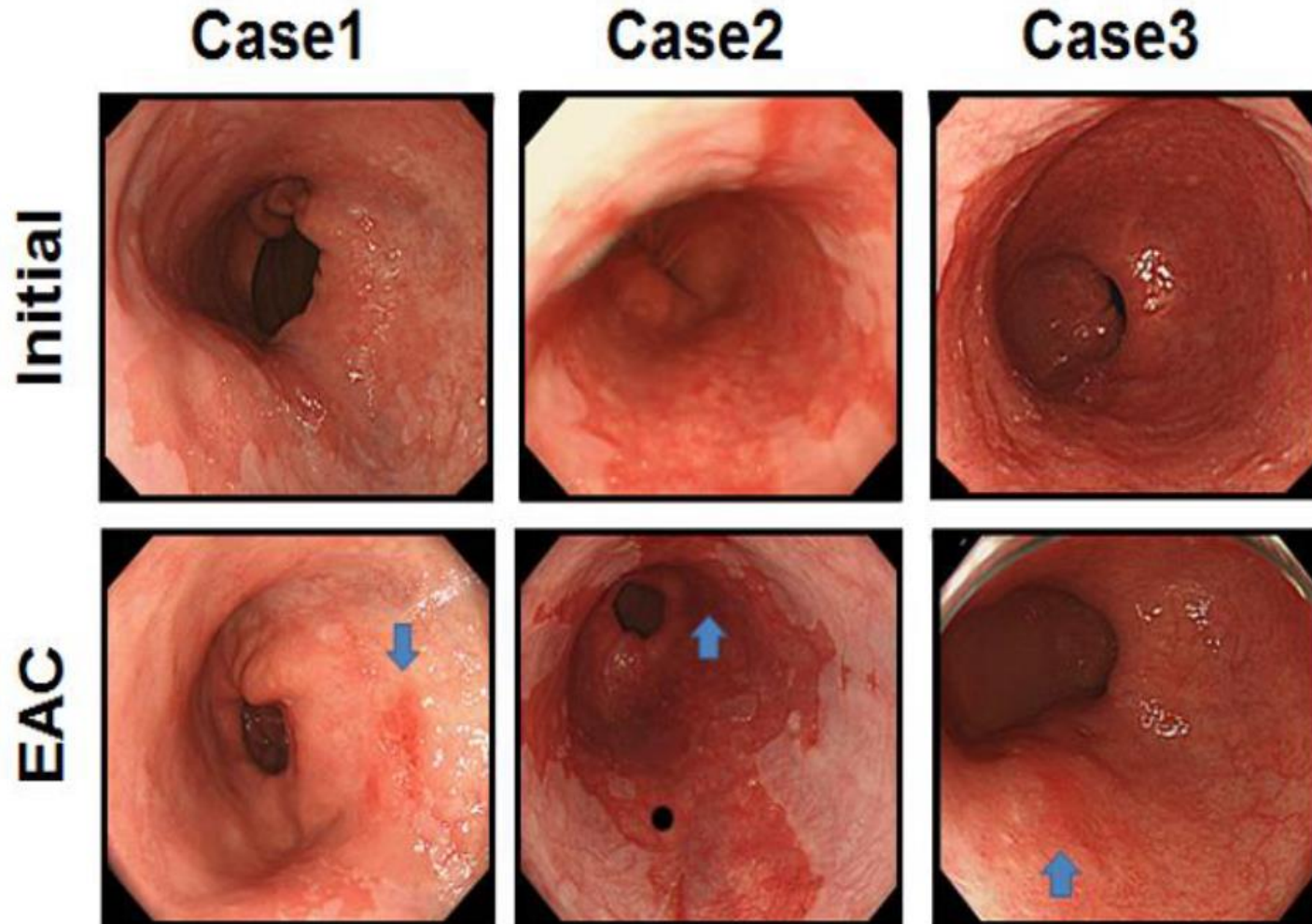
■ 経過中の発癌: 3症例

	Case1	Case 2	Case 3
年齢	80	56	56
性別	女性	男性	男性
診断から発癌までの期間	3年4ヵ月	3年2ヵ月	2年7ヵ月
CM分類	C2M4	C4M6	C6M6
病変の大きさ	18mm	30mm	5mm
組織型	分化型	分化型	分化型
肉眼型	0- II b	0- II b	0- II b
深達度	T1a-LPM	T1a-LPM	T1a-LPM
リンパ管侵襲	negative	negative	negative
脈管侵襲	negative	negative	negative
治療内容	内視鏡治療	外科的切除	内視鏡治療

経過観察中の発癌症例

中間解析時(2011年6月～2015年8月)

■ 経過中の発癌: 3症例





一般社団法人
日本消化器
内視鏡学会

▶ **日本消化器
内視鏡学会について**
学会概要、委員会一覧や
入会についての情報を
掲載しています。

▶ **会員のみなさまへ**
学会集会や専門医制度に
ついて等、会員の方への
情報を掲載しています。

▶ **市民のみなさまへ**
内視鏡検査や治療につい
てのご案内など、市民の方への
情報を掲載しています。

サイト内検索



OLYMPUS

一般社団法人日本消化器内視鏡学会
調査研究ご協力のお願い

バレット食道の発癌リスクを明らかとするための 多施設参加の前向きコホート研究 — LSBE調査研究 —

日本消化器内視鏡学会担当理事 川崎医科大学 春間 賢
LSBE調査研究代表 島根大学 木下 芳一

日本消化器内視鏡学会では、日本人を対象として長さ3 cm以上のバレット食道の発癌リスクを明らかにすることを目的とした10年間の前向きコホート研究を行っており、2016年5月現在、LSBE276例が参加登録され経年的な経過観察が行われております。

最初の4年間の観察でこの中から3例の食道腺癌が発症しており500例の患者さんを対象に10年間の経過観察を行うことで、日本における正確なバレット食道の発癌リスクが明らかとなるものと期待されております。長さが3 cm以上のバレット食道は、日本人の間では比較的少なく発見された全症例を登録していただきたいと考えています。

研究の概要・登録方法

日本消化器内視鏡学会ホームページ

「会員のみなさまへ」をクリックし、「学術委員会3つの研究」からお入り下さい。

① 会員のみなさまへ



学術委員会3つの研究
こちらからご覧ください

メールマガジンの「学術委員会からのお願い」でもご案内しております。

登録方法などについて不明な点は、下記事務局までご連絡をお願いします。

日本消化器内視鏡学会LSBE調査研究

事務局 石村 典久

島根大学医学部第二内科

Phone: 0853-20-2190 Fax: 0853-20-2187

Mail: ishimura@med.shimane-u.ac.jp

LSBE（最大長3cm以上）の患者さんの経過を見ておられる先生は、ぜひ登録をお願いします。先生方のご尽力をお願い申し上げます。



会員ログイン

会員番号(半角英数字)

パスワード(半角英数字6～20文字)

ログイン

パスワード新規発行

パスワードをお忘れの方へ



メールアドレス

▶ 登録・変更フォーム

JGES Mail Magazine

▶ バックナンバー

